



社会的存在としての対話AIの設計論： 良い関係性とは何かを考える

宮本 友樹 (情報学専攻 助教)

2026.3.24

12:15~12:45 @Zoom
(発表15分、Q&A15分)

生成AIが劇的に普及し、単なるツール以上の役割を担い始めています。しかし、私たち人間がAIとどのように付き合っていけば良いのかは、まだ誰にもわかりません。宮本研究室では、工学研究の立場から人と対話AIの「良い関係性」とは何かを明らかにするための理論的・実験的研究に力を入れています。本発表では、社会的存在としての対話AIが人間に及ぼす影響を調べた最新の実験結果をご紹介します。

研究分野

ヒューマンインタフェース/インタラクション、
知能情報学、認知科学

keyword

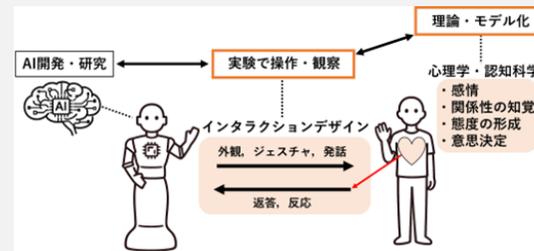
ヒューマンエージェントインタラクション
(HAI)、対話システム、心理学実験

対象

電気通信大学教職員、学生

参加申込

右側のQRコードのフォームからご登録ください。



COMPASS meetupは、学内研究者がどんな研究をしているのかを知る機会として、お昼休みに定期的に開催しています。本学の教職員・学生はどなたでも聴講可能です。気軽にご参加ください。

【お問合わせ】
研究教育マネジメント推進室URA
compass@ura.uec.ac.jp